

TY式5 学年社会科生産単元構想シート 小単元「米づくりのさかんな地域」

中心概念
 稲作は、自然条件を生かして営まれ、国民の主食を確保する上で重要な役割を果たしており、米づくりに関わる人々は、生産性や品質を高めるように努力したり、輸送方法や販売方法を工夫したりして、良質なものを消費地に届けるなど、日本の食糧生産を支えている。

- ・教科書にある資料：ア・イ・ウ…
- ・教科書にない資料：A・B・C…
- ・学習問題とまともに関係：◎
- ・学習問題に関係：○
- ・まともに関係：●

学習の視点の大きな	自然条件・環境 我が国の稲作は、地形や気候など、自然条件を生かして行われている。	生産に関わる人々の工夫や努力 農家の人々は、生産性や品質を高めたり、輸送・販売方法など良質な米を消費者に届けるために工夫や努力をしている。また、それらを支えるための協力関係がある。	課題・今後の発展 消費者や生産者の立場から、多角的に今後の農業の発展について考える。	学習の視点の大きな
	「どのように広がっているのだろう」	「どのような工夫や努力があるのだろう」「どのようなつながりがあるのだろう」「どのような協力をしているのだろう」	「どのように続けていくことがよいのだろう」「どのような影響を及ぼしたのか」	

時間	①②			時間
単元を俯瞰する資料	(1) 動画「米づくり列島・日本」 動画「都道府県別の米のとれ高」 →自然条件・環境	(2) 作業の様子(塩水選)→生産工程 (3) 10aあたりの米のとれ高、一等米の割合、ほ場整備、グラフ「労働時間の変化」→山形県庄内地方における技術の向上 →協力関係 (4) 作業機械の値段、営農指導員の仕事の様子 (5) カントリーエレベーターの写真、全国に米が運ばれる様子	(6) グラフ「1年間の一人あたりの米の消費量」「米の生産量と消費量の変化」 →米づくりの課題	単元を俯瞰する資料

時間	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	時間	
学習の視点	自然条件・環境	生産工程	技術の向上	協力関係	輸送・価格・販売	(単元に応じた視点)	課題	今後の発展	学習の視点
学習問題	米づくりがさかんな地域は、どんな特色があるのだろう。	米は、どのように生産されているのだろう。	米づくりには、どのような工夫があるのだろう。	農家の人は、どのような人たちが協力して米づくりをしているのだろう。	生産した米は、どのように消費者に届けられるのだろう。		農家の人たちは、どのような課題を抱えているのだろう。	「これからの米づくりで大切なことは何か」を考えよう。	学習問題
学習問題につながる資料	ア庄内平野の上空写真(東書)○ イ鳥瞰図(東書)◎ ウ土地利用図(東書)◎ エ月別日照時間、月別降水量(東書)● オ冬の庄内平野(日文)●	ア作業の様子写真(東書)○ イ米づくりカレンダー(東書)● ウ6～7月の今井さんの農家の一日の仕事(教出)●	ア新潟県の10aあたりの米の生産量の変化(教出)◎ イ労働時間の変化(教出)◎ ウほ場整理前とは場整理後の写真(日文)◎ エ化学肥料と農薬の消費量の移り変わり(日文)◎ オアイガモ農法(日文)● A機械での作業の様子(動画)● B用水路がない水田・水田のバルブ(東書、動画)●	ア共同作業の様子(東書)◎ イJA営農指導員の仕事(東書) ウ庄内平野で生産される稲の品種の移り変わり(日文)● エ水田農業試験場(各社教科書・資料集)◎ オ品種改良(各社教科書・資料集)●	Aカントリーエレベーター保管の仕方(動画)◎ ア庄内平野の米が全国に届くまで(東書)◎ B流通のしくみ(資料集)◎ イ米の生産にかかる費用の内訳(東書)● Cインターネット、道の駅、アンテナショップでの産地直送(資料集)●		ア米の生産量と消費量の変化(東書)◎ A庄内平野の上空写真(資料集)● イ農業で働く人の変化(東書)● ウ庄内地方の総農家数と専業農家の割合(東書)● B資料集●	A農業会社、集落営農(資料集、動画)◎ Aブランド米、米粉をつかった製品、飼料米、業務用米の生産(東書、日文、動画)◎ B資料集●	学習問題につながる資料
要解決に必要資料	イ・エ・オ	イ・ウ	ア・イ・ウ・エ	ア・イ・エ	A・ア・B・C		A・イ・ウ	ア・A・B	要解決に必要資料
見社会的考え方の	<位置や空間的な広がり> 導入場面で、ア・イを使い、水田はどこに広がっているのか気付かせる。	<事象や人々の相互関係> 展開の場面で、イ・ウを使い、米を生産する農家の人の苦労や努力に気付かせる。	<時期や時間の経過> 導入場面で、ア・イ・ウを使い、米づくりが技術の向上によって変化してきたことに気付かせる。	<事象や人々の相互関係> 展開の場面で、ア・イ・エを使い、作業を協力して行ったり、様々な機関と連携して米づくりを行っていることに気付かせる。	<事象や人々の相互関係> 展開の場面で、ア・B・イを使い、つくった米が消費者に届くまでの仕組みについて気付かせる。		<時期や時間の経過> 展開の場面で、A・ア・イ・ウを関連付けて、米の消費量の減少が、日本の米づくりの課題を引き起こしていることに気付かせる。	<時期や時間の経過> 展開の場面で、ア・A・Bを使い、これからの米づくりに何が大切か考えさせる。	見社会的考え方の
まとめ	米づくりがさかんな地域は、広い平野や豊富な水(川や雪解け水)があり、日照時間が長いなどの特徴がある。	農家の人たちは、手間をかけて大切に稲を育てている。米づくりには、一年を通じてたくさんの作業がある。	農家の人たちは、生産量や品質を高めるために、様々な工夫や努力をして米づくりを行っている。	農家の人は、共同作業を行ったり、JAや農業試験場の人々と関わったり、協力して米づくりを行っている。	つくった米は、カントリーエレベーターで保管され、フェリーやトラック、鉄道で全国のスーパーや小売店に運ばれる。また消費者のニーズに合わせた産地直送も行っている。		日本の米づくりは、米の消費量の減少にともない、生産量の減少や農家の後継者不足や高齢化などの課題を抱えている。	米づくりの課題を解決するために、農家経営や生産方法を変えるなど、様々な取組が行われている。	まとめ
用語・	最上川 赤川 日向川 鳥海山 雪解け水 日照時間 季節風	専業農家 苗づくり たい肥 無農薬の米づくり	機械化 ほ場整理	農業協同組合(JA) 営農指導員 共同作業 水田農業試験場 品種改良	カントリーエレベーター 食料基地 産地直送		生産調整 転作 高齢化 専業農家と兼業農家	農業会社 生産組合 集落営農 農業体験 ブランド米	用語・